

# 回覧

## ヤングケアラー・若者ケアラーって、ご存知ですか？

おじいちゃんやおばあちゃんの介護の心配やお世話。お父さんやお母さんの代わりに、妹や弟の面倒を見たり、食事の世話や掃除、洗濯をしたりと家庭内の役割として、子どもが家事や家族の世話をすることは、これまで一般的に行われてきたことでした。子どもの年齢や成長

に見合った家族のケア(世話)や手伝いは、子どもに思いやりや責任感などを育む大切な家庭教育でもありました。



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。

ただ一方で、年齢や成長に見合わない重すぎる責任や多すぎる作業など、過度な負担が続くと、子どもたち自身の心身の健康が損なわれ、社会性の発達の制限や学習面での遅れ、進学や就労への影響などが出てくると報告がされています。

### ☆ 「ヤングケアラー」とは、!?

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うとされているような家事や家族の世話を日常的に行っている子どもたちのことです。家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未溝の子どもたちのこと、ともいわれています。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。

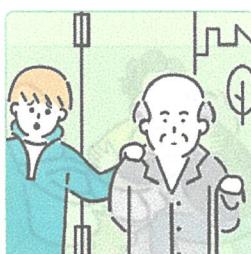
### ☆ 「ヤングケアラー」が増えているのは、!?

親の離婚やそれに伴う就労時間の増加、家族が病気になったり、障がいをもったりすることなどでケニアーズ(家事や世話の必要性)が増えることが要因の一つと考えられています。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。

このような状況になると最悪、働きに出る親に代わって子どもが家族をケアする中心になってしまいます。こうした子どもたちが今、周りに知らないままどんどん増えています。こうした子どもたちの中には、自分のやりたいことを我慢して、将来の夢をあきらめざるえないということも生じるケースがあります。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。

### ☆ 「ヤングケアラー」支援にとって大切なことは、!?

国の全国調査(2021年度)によると、中学2年生で5%、高校2年生で4%、中学2年生の17人に1人、高校2年生の24人に1人がヤングケアラーと報告

されています。

「普通の学生でいたいから言えない。」「家族を守りたいという思いで、声があげられない」とヤングケアラーは、家庭内、家族のことだけに表に現れにくく、本人からのSOSは非常に少ないと言われています。「ヤングケアラー」の支援は、「気付くこと」とともに「子どもの状況や思いや願いに寄り添った支援に結び付けていくこと」が大切です。

そのためにも、学校や福祉・医療サービス、行政機関等と地域の大人々の連携・協力が不可欠です。

地域の力で、子どもたちの未来を応援しましょう。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。

### ☆ 「若者ケアラー」とは、!?

「若者ケアラー」とは、主に18歳から30歳代までのケアラーを指します。

ヤングケアラーとほぼ同じ内容の家事やケア(世話)を担うものの、子どもではないという点で、それ以上の責任を背負うケースもあるといえます。

また、子どもではないけれど、通常のケアラーと同じサポートで事足りるかというと決してそうとは言い切れません。この年代は、仕事をしながら家族の世話をしているケースが多く、ケアする家族の状態が重くなれば、介護離職しなければならないという状況も生まれてきます。ケアをすることにより、自身の人生を左右する就職や進路決定、キャリア形成、結婚、出産などに大きな影響が出てくる可能性があり、若い世代特有の課題をふまえた支援を考える必要があると言えます。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。

家族のケアを  
こどもや若者がしている  
**ヤングケアラーを**  
**若者ケアラーを**  
ご存知ですか？



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

ご相談は、次の連絡先へ！

**児童相談所 相談専用ダイヤル**

**0120-189-783**

**文科省SOSダイヤル**

**0120-0-78310**

**里庄町健康福祉課**

**0865-64-7211**